

平成23年9月7日招集

茂原市議会定例会会議録（第1号）

議事日程（第1号）

平成23年9月7日（水）午前10時00分開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 認定案第1号から第9号並びに
議案第1号から第3号までの上程説明

第4 請願・陳情の上程後委員会付託

第5 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第1号）

平成23年9月7日（水）午前10時00分 開会

○議長（早野公一郎君） おはようございます。ただいまから平成23年茂原市議会第3回定例会を開会します。

現在の出席議員は25名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

午前10時00分 開議

○議長（早野公一郎君） 直ちに本日の会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

議会運営委員会委員長の報告

○議長（早野公一郎君） 最初に、今定例会の運営につき、閉会中に議会運営委員会を2回開会し、種々協議をいたしましたので、その内容について議会運営委員会委員長から報告を求めます。

議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君。

（議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君登壇）

○議会運営委員会委員長（伊藤すすむ君） おはようございます。議会運営委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、去る8月5日に招集告示されました平成23年第3回定例会の運営につき、8月5日及び9月5日に委員会を開き、種々協議をいたしましたので、その内容について報告し、皆様方の御協力をお願いするものでございます。

最初に、本定例会の日程について申し上げます。お手元の日程表をごらんいただきたいと思います。

まず、会期については、市長提出の認定案9件、議案3件並びに一般質問通告者9人を勘案し、本日から22日までの16日間とすることといたします。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、市長提出議案の上程説明、請願・陳情の上程後委員会付託並びに休会の件を議題といたします。

8日から13日までは、議案等調査のため休会、14日、15日に一般質問をそれぞれ4人ずつ行い、16日は一般質問を1人行った後に、議案質疑後委員会付託を行うこととし、本会議終了後、各常任委員会の審査をお願いいたします。

なお、一般質問者の順位は、くじにより配付資料のとおり決定いたしましたので、御了承願いたいと存じます。

また、認定案第1号、平成22年度茂原市一般会計歳入歳出決算の審査については、従来どおり決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることといたしました。委員会の構成については8人とし、委員の選任は、茂原市議会委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名とします。

さらに、認定案第2号から第9号までの特別会計決算についても、所管委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたします。

17日から21日までは、報告書作成等のため休会といたします。

最終日の22日は、本会議に先立ちまして、午前11時から各委員会の委員長報告の調整を行っていただき、午後1時から本会議を開き、議案等に対する総括審議を行うことといたします。

以上が、今定例会の運営に関する協議決定事項であります。運営上新たな問題が生じた際は、本委員会において協議の上、処理していくことといたしました。

議員の皆様方の御理解、御協力を重ねてお願い申し上げまして、報告を終わります。

○議長（早野公一郎君） 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

諸 般 の 報 告

○議長（早野公一郎君） 次に、諸般の報告をします。

報告の内容は、閉会中における議長の諸報告、公務報告、平成23年第2回定例会会議録についてであります。いずれもお手元に配付してあるとおりであります。

次に、本日招集されました9月定例会の議案等説明のため、市長並びに関係行政機関に出席を求めたところ、お手元に配付してあるとおり出席報告がありました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（早野公一郎君） 本日の議事日程は、既にお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

会議録署名議員の指名

○議長（早野公一郎君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本件については、会議規則第81条の規定により、議長から指名します。

会議録署名議員に

10番 鈴木 敏文 君

11番 ますだ よしお 君

の2名を指名します。

————— ☆ ————— ☆ —————

会 期 の 決 定

○議長（早野公一郎君） 次に、議事日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員会の協議に基づき、本日から22日までの16日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（早野公一郎君） 御異議ないものと認めます。したがって、会期は本日から22日までの16日間とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 の 報 告

○議長（早野公一郎君） ここで報告します。本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受理しお手元に配付しました。

また、あわせて地方自治法第233条第5項の規定により、平成22年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類、並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成22年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率についての書類が提出されました。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第3号までの上程説明

○議長（早野公一郎君） 次に、議事日程第3「認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第3号までの上程説明」を議題とします。

議案の上程については、認定案9件、議案3件を一括上程します。

市長から提案理由を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） おはようございます。本日から、平成23年第3回定例会を開催いたしますこととなりました。議員各位におかれましては、大変お忙しいところ、まことに御苦労さまで

ございます。

議案の説明に入ります前に、諸般の報告を申し上げます。

初めに、このたびの台風12号によります和歌山、奈良、三重3県を中心としました甚大な被害により犠牲になられた皆様の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げる次第であります。

そして、現在なお続く孤立集落の救出作業と復旧が早期に行われることを願う次第でございます。

さて、本年3月の東日本大震災発生以来、我が国の経済情勢は一段と厳しい状況に置かれております。電力供給の制約や原発事故の影響、海外の景気動向などのリスク、雇用情勢の悪化懸念に加えまして、最近の急激な円高傾向により、輸出面において市内企業の多くが影響を受けることが予想されております。

一方、去る8月30日には菅内閣が総辞職いたし、初の千葉県選出の首相として野田佳彦氏が新たに内閣総理大臣に就任いたしました。野田首相は、財政健全化と間断なき経済対策に強い意欲を示しており、私といたしましては、一日も早く今後の震災復興対策に加え、円高やデフレ脱却に向けた緊急経済対策について期待しているところでございます。

また、これ以上、国内の産業空洞化が起きないことを切に願っているところであります。

それでは、初めに東日本大震災の対応について申し上げます。

大震災の発生以降、余震の発生や原発事故の影響など、いまだ終息を迎えない状況が続いている中で、本市といたしましては、市内全域の放射線量を把握するため、小学校全14校において5月30日から職員による大気中の放射線量測定を実施しております。

さらに、8月1日からは、県内の市町村が同じ機種で測定して結果を公表するため、県の測定マニュアルに従いまして、県から市町村に貸与されました放射線測定器により週1回の測定を行っております。測定結果は、国が示しました基準値を下回っており、健康上問題となるような数値は検出されておられません。

水道水につきましては、九十九里地域水道企業団が長柄浄水場の水を定期的に検査しておりまして、福島第一原発の事故発生後、一時的に微量の放射性ヨウ素、セシウムが検出された時期がございましたが、4月12日以降はいずれも検出されておられません。

また、自己水源であります山之郷、皿木、長南の各浄水場は地下水を水源としているため、放射性ヨウ素、セシウムは検出されておられません。

農作物につきましては、千葉県が3月27日から茂原・長生地域において、小松菜、ほうれん

草、タマネギ、小麦などを検査しておりますが、いずれも暫定規制値以下となっております。

なお、米につきましては、千葉県が8月16日から22日にかけて、市内の10カ所においてサンプリング検査を行いました。放射性物質は検出されませんでした。

川中島下水処理場の下水汚泥につきましては、定期的に検査を実施しており、検出された放射性セシウムの受け入れ基準が定まらない間は搬出を停止しておりましたが、現在は定められた基準値を下回っており、今までどおりの処分をしております。

広域組合環境衛生センターの焼却灰につきましても、7月13日に採取し検査を行ったところ、放射性セシウムが検出されませんでした。埋め立て基準値を下回っており、いずれも周辺環境に影響のないレベルでございました。

放射線関係につきましては、今後とも市民の安全・安心のために監視を続けてまいりたいと思っております。

次に、中・長期避難者の受け入れにつきまして申し上げます。

本市では、震災直後から市内企業や市民の皆様から無償で住宅を提供していただき、その住宅を避難者に提供するという独自の支援を実施しております。しかしながら、この制度により入居できる期間が来年3月までであることや、県が被災県から災害救助法に基づく応援要請を受けて、新たに民間賃貸住宅の借り上げによる応急仮設住宅の取り扱いを実施したことから、本市においても同様の制度を8月1日からスタートさせ、避難者支援の充実を図ったところでございます。この制度によりまして、避難者を含め、8月31日現在で、市内には28世帯、68人の方が避難している状況でございます。

次に、救援募金・義援金等について申し上げます。

市民の皆様や各団体に御協力をいただき、8月31日現在で日本赤十字社関係が3608万9691円、社会福祉協議会が扱う共同募金関係が371万8790円、県内被災市関係が40万円、釜石市等への支援関係が518万4232円となり、合計で4539万2713円となっております。

次に、節電対策について申し上げます。

東日本大震災の影響による電力需給の厳しい状況を受けまして、市を挙げて節電対策に取り組むため、「茂原市夏の節電アクションプラン2011」を策定し、これまで以上の節電、省エネに取り組んでおります。この計画は、7月1日から9月30日までの3か月間を計画期間とし、電力消費のピークとなる9時から20時までの消費電力と月間の消費電力につきまして、それぞれ前年度同期比で国の目標であります15%を上回るマイナス20%を目指すものでございます。

大口需要者である市役所本庁舎につきましては、7月の月間消費電力がマイナス27%となり

ました。また、本庁舎を含めたすべての公共施設を総計しますと、マイナス16.2%となったところです。大口需要者向けの電力使用制限令は9月9日で解除されることになっておりますが、電力需給の状況は当面厳しさが続くものと考えておりますので、引き続き節電に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、災害時要援護者避難支援プランについて申し上げます。

昨年策定いたしました全体計画に基づきまして、現在、福祉部において個別計画の策定を進めております。計画策定にあたりましては、支援者の特定など難しい面も多々ございますが、今回の東日本大震災のような大災害がいつ発生するかわかりませんので、できるだけ早期に計画を策定し、災害時に一人でも見逃すことのない体制づくりに努めてまいりたいと思っております。

以上、東日本大震災に関する本市の対応等について申し上げましたが、災害の被害を未然に防止し、最小限に食い止めるためには、住民及び防災関係機関相互の密接な連携による迅速かつ円滑な対応が重要でございます。このような認識のもと、茂原警察署などの防災関係機関及び水道、ガスなどのライフライン関係機関、地元自治会、小学校等の関係者の皆様に御参加いただきまして、8月27日に豊田小学校を会場として、地域防災訓練を実施する予定でしたが、雨天のためやむなく中止となりました。しかしながら、災害に対しては日ごろからの心構えが大変重要でございますので、今後とも災害に強いまちづくりに努力してまいりたいと考えております。

続きまして、障害福祉計画について申し上げます。

障害福祉サービス等の提供基盤の充実とサービス提供を着実に推進することを目的といたしました「第2期茂原市障害福祉計画」の計画期間が今年度末で終わることから、新たに平成24年度から平成26年度までの3か年を計画期間とする「第3期茂原市障害福祉計画」を現在策定しているところでございます。今後は、国の基本方針を踏まえ、自立支援協議会や関係者等の意見を取り入れながら、障害福祉サービスや相談支援において見込まれるサービス量を適切に把握するとともに、サービス提供体制の整備に努め、障害福祉のさらなる充実を図ってまいります。

次に、高齢者福祉について申し上げます。

7月下旬に国の介護保険事業計画の基本指針が示され、本市におきましても、8月4日に第1回目の介護保険運営協議会を開催し、平成24年度から平成26年度の3か年間を計画期間とする「茂原市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」の策定に取り組んでおります。今

後、さらに高齢化が進行する中で、介護サービスの一層の充実と要介護・要支援の状態にならないための介護予防の推進に努めてまいります。

次に、保健医療について申し上げます。

本年2月に開始された子宮頸がんワクチンの接種につきましては、ワクチン供給量の不足から3月以降の接種が差し控えられておりましたが、7月20日から全対象者への接種が再開されました。また、「働く世代の大腸がん検診推進事業」につきましては、新たに40歳から60歳まで5歳ごとの対象者に無料クーポン券を送付して受診率の向上を図るものであり、8月の下旬から検診を実施しております。

次に、農業振興について申し上げます。

農作物価格の低迷、農業従事者の高齢化及び担い手不足など、農業を取り巻く環境は非常に厳しい情勢となっており、農地の遊休化も進んでおります。これらを一体的に解消するため、これまでの「茂原市地域水田農業推進協議会」と「茂原市地域耕作放棄地対策協議会」を統合し、あわせて各種団体及び担い手や認定農業者を加えました「茂原市地域農業再生協議会」を7月15日に設立いたしました。この協議会において、農業者戸別所得補償制度に関する取り組みや担い手育成及び農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用等の方向づけを行い、地域農業の抱える各種問題が解決できるものと考えております。

なお、昨年度開始されました水田を対象とする「戸別所得補償モデル事業」に続きまして、本年度からは畑作物にも対象を拡大して「農業者戸別所得補償制度」が本格実施されました。本事業につきましては、米の生産数量目標に即した生産を行った販売農家や、水田に飼料用米、米粉用米等の作付けを行い、食料自給率の向上に努めた生産者が対象となっており、加入の推進を図りましたところ、本年度は79名の生産者から申請がありました。

次に、茂原七夕まつりについて申し上げます。

「とどけ元気 とどけ願い」のメインテーマのもと、第57回茂原七夕まつりが7月22日から24日までの3日間にわたりまして開催されました。電力需給や安全対策に配慮し、時間を短縮しての開催となりましたが、県内外から68万人の観光客が訪れ、盛会のうちに無事終了することかできました。今回は新たな取り組みといたしまして、七夕まつりのマスコットキャラクター「モバリん」君のお披露目式を実施したほか、豊田川を愛称「天の川」と命名いたしまして、竹飾りを施し、壁画に天の川を描きました。また、夕方にはキャンドルナイトが実施された川辺に幻想的な雰囲気が醸し出され、観光客の目を楽しませていました。また、七夕にちなんだ4つの銘産品も誕生するなど、新たな催しに多くの方々から御好評をいただきました。このほ

か、オープニングセレモニーからフィナーレまでさまざまな催しでにぎわったフェスタ21会場、メインイベントにふさわしく踊り手と観客が一体感に包まれた「もばら阿波おどり」、12チーム、約500人が参加した「ちばYOSAKOI・夏の陣2011」など、さまざまなイベントが開催され、観客に夢と希望と感動を与えることができたと思っております。

震災の関係で一たんは開催が危ぶまれましたけれども、茂原から元気を発信する七夕まつりを実施することができたのではないかと考えております。御協力いただきました警察、消防関係者、市内企業の皆さん、また、盛り上げていただきました市民の皆様にご心より感謝を申し上げます次第であります。

次に、自治基本条例について申し上げます。

基本構想に掲げた「ゆたかなくらしをはぐくむ『自立拠点都市』もばら」の実現を目指しまして、市民相互間のもとより、市民と行政、さらには企業等との役割分担の中で「共生」と「共創」のまちづくりを進めていくため、（仮称）茂原市自治基本条例の制定を目指して準備を進めているところでございます。

本事業につきましては、行財政改革大綱第5次実施計画において本年度中の制定を目指すこととしておりましたが、条例案の作成にあたりましては、公募による市民の会議を主体として多くの市民の意見を取り入れ、熟議を重ねて制定する必要があるとございますので、時間をかけて慎重に検討してまいりたいと考えております。

さて、本定例会に御提案申し上げます案件は、認定案9件、補正予算1件、条例議案2件の合計12件でございます。

まず、認定案第1号から認定案第9号までは、平成22年度の一般会計及び特別会計の決算の認定でございます。

一般会計につきましては、歳入総額は278億5814万1828円、歳出総額は265億5268万4031円となり、翌年度に繰り越すべき財源等を差し引いた実質収支は11億4646万367円の黒字決算となりました。また、特別会計につきましても順調な決算をすることができました。

これもひとえに議員各位はもとより、市民の皆様方の温かい御支援、御協力の賜物と深く感謝を申し上げます次第であります。

次に、議案第1号の「平成23年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について申し上げます。

本案は、歳入歳出それぞれに2億4280万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額を272億938万4000円にしようとするものでございます。

次に、議案第2号「公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について」御説明申し上げます。

本案は、財団法人茂原市学校給食公社の解散に伴い、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第3号「茂原市税条例等の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴いまして、所要の改正をしようとするものでございます。

以上が、今議会に提案しております12案件の概要でございます。詳細につきましては、担当部長から説明させますので、よろしく御審議を賜り、御可決をくださいますようお願いを申し上げます。

以上でございます。よろしく御説明申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 理事兼企画財政部長 國代文美君。

（理事兼企画財政部長 國代文美君登壇）

○理事兼企画財政部長（國代文美君） 企画財政部所管にかかわります認定案第1号、議案第1号及び議案第3号につきまして御説明申し上げます。

まず、認定案第1号「平成22年度茂原市一般会計歳入歳出決算」についてであります。

歳入総額は278億5814万1828円、対します歳出総額は265億5268万4031円で、歳入歳出差引額は13億545万7797円の黒字決算となりました。

繰越明許費で翌年度へ繰り越すべき財源1億5899万7430円を差し引いた実質収支につきましても、11億4645万9000円の黒字決算となったところでございます。

また、決算規模を前年度と比較いたしますと、歳入におきましては、地方交付税の増や千葉県緊急雇用創出事業の実施等による県支出金の増などがありましたが、個人所得の減少や企業の設備投資の停滞等による市税の減、定額給付金事業費補助金の皆減等による国庫支出金の減や土地開発公社に対する貸付金元金収入の皆減等による諸収入の減等によりまして、8394万9524円、0.3%の減となりました。

一方、歳出におきましては、子ども手当支給事業の増や障害福祉費の増等による扶助費の増、普通建設事業費における単独事業費の増等がありましたが、定額給付金給付費の皆減等による補助費の減、普通建設事業費における補助事業費の減等によりまして、7億4081万6506円、2.7%の減となりました。

次に、歳出の概要について申し上げます。詳細はお手元に配付してございます「主要施策の成果」により御報告させていただきます。

まず、教育文化でございますが、幼児教育の充実といたしましては、市内3幼稚園管理教室棟の耐震診断業務委託で388万円余を、教育環境の整備といたしましては、小学校では市内8小学校の教室棟や屋内運動場の耐震診断業務委託で2068万円余を、萩原小学校普通教室棟の改築工事等で7億493万円余を、豊岡小学校太陽光発電設備設置工事等で2294万円余を、中学校では、富士見中学校の教室棟の耐震診断業務委託で462万円余を、富士見中学校太陽光発電設備設置工事等で2607万円余を、本納中学校管理教室棟の耐震補強工事等で1億3949万円余を、茂原中学校・東中学校テニスコート設置工事等で4651万円余を、スポーツ・レクリエーションの振興といたしましては、ゆめ半島千葉国体の開催にあたり3906万円余を、男女共同参画社会の実現といたしましては、「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第2次）」の策定で60万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、健康福祉でございますが、児童福祉の充実といたしましては、放課後児童健全育成事業で3719万円余を、子ども手当支給事業で13億8442万円余を、障害者福祉の充実といたしましては、介護給付事業で5億8121万円余を、重度心身障害者（児）医療費助成事業で1億4257万円余を、ひとり親家庭福祉の充実といたしましては、児童扶養手当支給事業で3億3280万円余を、低所得者福祉の推進といたしましては、558保護世帯への生活保護扶助費で12億3871万円余を、健康診査の充実といたしましては、生活習慣病・メタボリックシンドロームの予防等を目的とした健康診査事業で8297万円余を、母子保健の充実といたしましては、対象を小学3年生まで拡大した子ども医療費助成事業で1億4113万円を、老人医療の充実といたしましては、後期高齢者医療事業で5億5317万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、生活環境でございますが、生活道路の整備といたしましては、42カ所の道路補修工事等で6897万円余を、10路線の道路改良事業で2157万円余を、公園の整備といたしましては、長生の森公園整備事業で3779万円余を、国の交付金等を活用した都市公園等維持補修事業で2598万円余を、防災体制の充実といたしましては、防災備蓄倉庫2カ所の設置等、災害非常対策事業で979万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、都市基盤でございますが、秩序ある市街地整備の推進といたしまして、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で3726万円余を、道路網の整備といたしましては、債務負担行為の償還を除き、街路事業費で2437万円余を、バス輸送の整備といたしましては、市民バス運行事業として1714万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、産業振興でございますが、生産基盤の整備といたしましては、新川地区の県営かんがい排水事業で3837万円を、新たな企業・産業の導入といたしましては、企業立地促進事業で2億5000万円を、経営の近代化促進といたしましては、中小企業資金融資事業で5億6465万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、市民自治でございますが、広聴活動の充実といたしまして、市民相談事業で109万円余を、計画行政の推進といたしましては、基本計画策定事業で243万円を執行いたしました。

最後に、茂原市土地開発公社経営健全化計画及び債務負担行為償還計画Ⅲに基づく債務負担行為の解消といたしまして、街路事業費で9億9318万円余を、二宮福祉センター用地購入費として1519万円余をそれぞれ執行いたしました。

以上、概要について申し上げましたが、本案につきましては、監査委員の意見書を付してございます。決算審査の過程におきまして御意見、御指導いただいておりますので、今後ともそれらに十分留意いたしまして、市民福祉の向上に一層の努力をまいります。

次に、財政健全化法の健全化判断比率及び資金不足比率について御説明いたします。

まず、健全化判断比率でございますが、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため該当がございません。実質公債費比率は17.3%で、早期健全化基準の25%を、また、将来負担比率は191.9%で、早期健全化基準の350%をそれぞれ下回りました。

また、資金不足比率につきましては、下水道事業会計、農業集落排水事業会計、宅地開発事業会計のいずれも黒字のため該当がございません。

次に、議案第1号「平成23年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4280万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ272億938万4000円にしようとするものでございます。

その主な内容を歳出より申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、8目財産管理費の庁舎維持管理費は、建築基準法に基づく特殊建築物定期調査・検査及び報告書の作成委託料に388万5000円を、2項徴税費、2目賦課徴収費の過誤納還付金は、法人市民税等の還付金に986万6000円をそれぞれ追加するものでございます。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費の地域支え合い体制づくり事業は、要援護者避難支援システム購入費500万円を、2目障害福祉費の介護給付事業は重度訪問介護費に1834万9000円を、4項災害救助費、1目災害救助費の東日本大震災避難者受入事業は、民間賃

貸住宅を借り上げ、提供する避難者住宅扶助に2282万4000円をそれぞれ追加するものでございます。

4款衛生費、1目保健衛生費、5目環境衛生費の住宅用太陽光発電設備設置奨励事業は、太陽光発電設備設置補助金に140万円を追加するものでございます。

5款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費の用排水路維持管理事業は、資材購入費及び東日本大震災の被災等に対応するため農道小用排水補助金に318万9000円を追加するものでございます。

7款土木費、3項都市計画費、2目街路事業費は、土地開発公社債務負担行為償還分として街路事業用地購入費に1億4233万2000円を追加するものでございます。

9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費は、小学校12校の特殊建築物定期調査・検査及び報告書作成委託料に623万円を、3項中学校費、1目学校管理費は、同様に、中学校7校の特殊建築物定期調査・検査及び報告書作成委託料に478万1000円を追加するものでございます。

次に、歳入の主なものについて申し上げます。

15款県支出金は、東日本大震災災害救助費負担金、重度訪問介護利用促進市町村支援事業補助金等に4548万6000円を追加するものでございます。

19款繰越金は、1億8245万1000円を追加するものでございます。

第2表地方債補正でございますが、茂原駅前通り地区区画整理事業の限度額を変更するものでございます。

次に、議案第3号「茂原市税条例等の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、現下の厳しい経済情勢及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るため地方税法等の一部を改正する法律が平成23年6月30日に公布されたことに伴い、茂原市税条例等の一部を改正しようとするものでございます。

その改正の概要について申し上げます。

最初に、個人市民税の改正でございますが、寄附金税額控除の適用額が5000円から2000円に引き下げられました。また、肉用牛の売却による課税の特例の適用となる免税対象飼育牛の販売頭数が2000頭から1500頭に引き下げられ、平成24年度までの特例の適用期限が平成27年度まで延長されました。

次に、固定資産税の改正でございますが、高齢者向け優良住宅の減額の特例の適用となる当該住宅の要件が高齢者の居住の安定確保に関する法律の改正に伴い、同法律の認定を受けたも

のから登録を受けたものに変更され、平成23年3月31日となっていた新築の場合の特例の適用期間が平成25年3月31日まで延長されました。

最後に、罰則の改正でございます。市民税、固定資産税及び諸税において不申告に関する過料が3万円以下から10万円以下に見直されたものでございます。

以上、御説明申し上げました。よろしく御審議くださり、御可決くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 市民部長 中山 茂君。

（市民部長 中山 茂君登壇）

○市民部長（中山 茂君） 市民部所管にかかわります認定案第2号、第5号及び第9号について御説明を申し上げます。

まず、認定案第2号「平成22年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

本案は、歳入総額101億6541万1981円に対しまして、歳出総額95億330万8694円で、歳入歳出差引額6億6210万3287円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1款国民健康保険税は、収入済額28億6061万1244円で、前年度比1億7110万8924円、5.6%の減となりました。減額の主な要因は、平成22年度の国民健康保険税の課税より、所得の低い方に配慮した軽減制度の拡充を実施したことに伴うものでございます。

現年度課税分の収納率は84.23%で、前年比1.13ポイントの増となりました。

3款国庫支出金は、1項国庫負担金として19億4686万7403円が交付されました。前年比1798万6445円、0.92%の減でございます。主なものは、療養給付費等負担金で、一般被保険者の医療費、後期高齢者医療費支援金及び介護納付金に対する国庫負担分でございます。

また、2項国庫補助金として、各保険者間の国保の財政力に対する財政調整交付金4億6326万円、出産育児一時金の増額に対する出産育児一時金補助金340万円など、合わせて4億6751万5639円でございます。

4款療養給付費等交付金は、3億4168万6069円が交付されました。これは、退職被保険者の療養給付費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金でございます。

5款の前期高齢者交付金は、20億5967万1560円が交付されました。これは65歳から74歳までの被保険者の医療費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金でございます。

6款の県支出金は、4億5430万4428円が交付されました。主なものは、高額医療費共同事業

負担金、特定健康診査等負担金及び財政調整交付金でございます。

9 款繰入金は、一般会計繰入金 1 億2397万7386円、保険基盤安定繰入金 3 億4393万3614円で、合わせて 4 億6791万1000円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、1 億5950万5631円で、一般職人件費及び保険税賦課徴収事務費が主なものでございます。

2 款保険給付費は、支出済額が65億937万1558円で、対前年度比 2 億6535万9776円、4.25%の増となりました。

3 款後期高齢者支援金等は、支出済額12億31万2323円で、後期高齢者医療制度の安定的運営のため、社会保険診療報酬支払基金へ拠出するものでございます。

4 款前期高齢者納付金等は、支出済額206万9734円で、前期高齢者の医療費を全保険者間で負担調整した際の納付金で、社会保険診療報酬支払基金へ納付するものでございます。

6 款介護納付金は、支出済額 5 億2293万293円で、40歳から64歳までの第 2 号被保険者に係る介護保険給付に対する負担金でございます。

8 款保健事業費は、支出済額8439万1767円で、前年度比429万3161円の増となりました。主なものは、特定健康診査に要する費用と人間ドック助成事業等に要する費用でございます。

以上が「平成22年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」の概要でございます。我が国の医療保険制度のうち、国民健康保険は高齢者や所得の少ない方が被保険者の多くを占めており、また、景気の低迷や医療費の伸びにより厳しい事業運営を余儀なくされているのが実情であります。今後とも、より一層、国の動向に注視するとともに、医療費の適正化を図り、事業の健全な運営に努めてまいります。

次に、認定案第 5 号「平成22年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

老人保健制度につきましては、平成18年法律第83号の「健康保険法等の一部を改正する法律」の施行により、平成20年度から後期高齢者医療制度として改編されたところでありますが、従前の老人保健特別会計の設置義務が平成23年 3 月末でなくなるため、本年第 1 回市議会定例会において、「茂原市特別会計条例の一部改正」を行い、平成23年 3 月31日をもって会計を閉鎖したものでございます。

本案は、歳入総額3270万5231円、歳出総額も同額の3270万5231円でございます。歳入歳出差額ゼロ円といたしたものでございます。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1 款繰越金は、前年度からの繰越金で、3194万8926円でございます。特別会計の閉鎖に伴う繰越金の計上でございます。

4 款国庫支出金は、過年度分の医療費負担金で、58万2956円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

3 款諸支出金は、12万1637円で、医療費交付金の過年度精算に伴う返還金でございます。

4 款繰出金は、特別会計の閉鎖に伴い、その残余、3257万2046円を一般会計に繰り出すものでございます。

以上が「平成22年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、認定案第9号「平成22年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額8億306万4927円に対しまして、歳出総額7億7281万6531円で、歳入歳出差引額は3024万8396円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1 款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額は5億5542万3400円でございます。

4 款繰入金につきましては、事務費繰入金6943万9000円、保険基盤安定繰入金1億2531万2612円で、合わせて1億9475万1612円でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費は、4049万9185円で、一般職人件費及び後期高齢者医療事務費並びに徴収事務費が主なものでございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、支出済額7億3051万8946円で、千葉県後期高齢者医療広域連合へ納付するものでございます。

以上が「平成22年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

以上、市民部所管にかかわります認定案3件につきまして御説明させていただきました。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 都市建設部長 古市賢一君。

（都市建設部長 古市賢一君登壇）

○都市建設部長（古市賢一君） 都市建設部所管にかかわります認定案第3号、第4号及び第7号につきまして御説明申し上げます。

初めに、認定案第3号「平成22年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額15億6299万1844円に対しまして、歳出総額13億7417万4955円となり、歳入歳出差引額1億8881万6889円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金、収入済額223万7000円余につきましては、受益者負担金でございます。

2 款使用料及び手数料7億6363万7000円余につきましては、下水道使用料等でございます。

3 款国庫支出金8950万円につきましては、処理場改築事業等に係る国庫補助金でございます。

5 款繰入金3億3000万円につきましては、一般会計からの繰り入れでございます。

6 款繰越金1億1359万8000円余につきましては、平成21年度よりの繰越金でございます。

7 款諸収入1228万5000円余につきましては、接続協力金等でございます。

8 款市債2億5170万円につきましては、下水道事業債でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費9815万8000円余につきましては、下水道使用料の徴収委託料及び消費税等でございます。

2 目維持管理費3億200万6000円余につきましては、処理場の光熱水費、汚泥等の処分委託料、処理場維持管理業務等委託料及び管渠補修工事等でございます。

2 項工事費1億9794万5000円につきましては、川中島終末処理場の改築工事等でございます。

3 款公債費7億7606万4000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が、平成22年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、認定案第4号「平成22年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額1525万9884円に対しまして、歳出総額35万7000円となり、歳入歳出差引額1490万2884円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款繰越金、収入済額1525万9000円余につきましては、平成21年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出につきまして御説明申し上げます。

1 款事業費35万7000円につきましては、西部地区開発事業用地の草刈委託料でございます。

以上が、平成22年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算の概要でございます。

次に、認定案第7号「平成22年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額1億7269万7738円に対しまして、歳出総額1億7260万583円となり、歳入歳出差引額9万7155円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1款事業収入、収入済額4120万8000円余につきましては、駐車場使用料及び駐車場壁面使用料でございます。

2款繰入金1億3000万円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

3款繰越金143万7000円余につきましては、平成21年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1款事業費、1項管理費、1目一般管理費74万1000円余につきましては、消費税でございます。

2目施設管理費4487万7000円余につきましては、駐車場の管理委託料及び用地の借上料等でございます。

2款公債費1億2698万1000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が、平成22年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算の概要でございます。

以上、都市建設部所管にかかわります認定案3件について御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 経済環境部長 前田一郎君。

（経済環境部長 前田一郎君登壇）

○経済環境部長（前田一郎君） 経済環境部所管にかかわります認定案第6号「平成22年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出の決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額3億3590万9674円に対しまして、歳出総額3億2058万4881円で、歳入歳出差引額1532万4793円の黒字決算となりました。

その主な概要につきまして、歳入より御説明申し上げます。

1款分担金及び負担金800万円でございますが、納入件数16件の受益者分担金でございます。

2款使用料及び手数料1億2262万1575円でございますが、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の使用料で、納入戸数は2255戸でございます。

4款繰入金でございますが、一般会計より1億4000万円を繰り入れいたしました。

5 款繰越金は、1427万9643円で、前年度からの繰越金でございます。

7 款市債でございますが、下水道事業債を5100万円借り入れいたしました。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1 款事業費は、9115万1667円でございます。

その主な事業内容といたしまして、1 項管理費、1 目一般管理費は2829万7784円で、これは事務事業を執行する人件費及び事務費でございます。

2 目施設管理費は6285万3883円で、東郷第一地区外 3 地区の処理施設及び管路施設の維持管理費でございます。

3 款公債費 2 億2943万3214円は、起債の元金及び利子の償還金でございます。

以上が、平成22年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 福祉部長 古山 剛君。

（福祉部長 古山 剛君登壇）

○福祉部長（古山 剛君） 福祉部所管にかかわります認定案第 8 号「平成22年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入合計50億4447万1355円に対し、歳出合計は48億9837万6694円で、歳入歳出差引残額 1 億4609万4661円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款介護保険料につきましては、収入済額は 9 億1118万800円ございまして、徴収率は 95.24%となっております。

3 款国庫支出金につきましては、介護保険給付費に対する国の負担金 8 億2628万円、介護保険給付費に対する国の調整交付金 1 億5203万1000円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金 1934万3000円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金2061万2800円を合わせまして、10億1826万6800円が収入済額となっております。

4 款支払基金交付金につきましては、介護保険給付費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金13億7268万277円、地域支援事業に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金2242万1000円を合わせまして、13億9510万1277円が収入済額でございます。

5 款県支出金につきましては、介護保険給付費に対する県の負担金 6 億9305万円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金784万4045円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金870万7028円を合わせまして、7 億960万1073円が収入済額となっております。

8 款繰入金につきましては、収入済額 8 億7566万8753円、内訳といたしましては、一般会計から、介護給付費分として 5 億9292万6000円、介護予防事業に係る地域支援事業分877万6000円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業分1026万2000円及び運営費分 1 億1278万5000円、保険給付費充当分といたしまして、給付費準備基金から 1 億3737万5000円でございます。介護従事者処遇改善臨時特例基金から1354万4753円でございます。

9 款繰越金につきましては、収入済額 1 億3078万9407円で、前年度からの繰越金でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費につきましては、支出済額 1 億6335万138円で、主なものといたしましては、1 項 1 目一般管理費の一般職人件費が 1 億883万4514円、介護保険電算システム事業が1992万8077円でございます。

3 項 1 目介護認定審査会費につきましては、長生郡市広域市町村圏組合介護認定審査会負担金1332万4000円でございます。

2 款保険給付費につきましては、支出済額45億6935万1799円で、前年比6.3%、金額で 2 億7244万9191円の増加でございます。

保険給付費の主なものといたしましては、1 項 1 目居宅介護サービス給付費が19億3862万5654円、1 項 2 目介護予防サービス給付費が 1 億2774万5930円、1 項 3 目地域密着型介護サービス給付費が 3 億9580万784円、1 項 4 目施設介護サービス給付費が15億9581万6120円、1 項 7 目居宅介護サービス計画給付費が 2 億2029万5219円、4 項 1 目特定入所者介護サービス費が 1 億4951万3720円でございます。

3 款地域支援事業費につきましては、支出済額 1 億602万9998円でございます。

地域支援事業の主なものといたしましては、1 項 1 目介護予防事業費のうち、介護予防特定高齢者施策事業が1110万2899円、2 項 2 目任意事業費のうち、地域自立生活支援事業が266万8600円でございます。

4 款基金積立金につきましては、支出済額3267万3028円で、その主なものは、1 項 1 目介護給付費準備基金積立金であり、今後の保険給付の増加等に対応するため、3266万2000円の積み立てを行ったものでございます。

以上が、平成22年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（早野公一郎君） 総務部長 平野貞夫君。

(総務部長 平野貞夫君登壇)

○総務部長(平野貞夫君) 総務部所管にかかわります議案第2号「公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、市が職員を派遣できる団体としておりました財団法人茂原市学校給食公社が解散したことに伴いまして、当該団体を職員を派遣できる団体から削除する改正をしようとするものでございます。

以上でございます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長(早野公一郎君) 以上で提案理由の説明を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

請願・陳情の上程後委員会付託

○議長(早野公一郎君) 次に、議事日程第4「請願・陳情の上程後委員会付託」を議題とします。

受付締切の9月2日までに受理しました請願1件、陳情3件を一括上程します。

ただいま上程しました請願・陳情は、お手元に配付の請願文書表並びに陳情文書表のとおり、所管委員会にその審査を付託します。

————— ☆ ————— ☆ —————

休会の件

○議長(早野公一郎君) 次に、議事日程第5「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明日8日から13日まで、議案等調査のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(早野公一郎君) 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

次の本会議は14日午前10時から開き、一般質問を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前11時26分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 会議録署名議員の指名
2. 会期の決定

3. 認定案第1号から第9号並びに議案第1号から第3号までの上程説明
4. 請願・陳情の上程後委員会付託
5. 休会の件

○出席議員

議長 早野 公一郎 君

副議長 勝山 颯郷 君

1番	飯尾 暁 君	2番	前田 正志 君
3番	矢部 義明 君	4番	金坂 道人 君
5番	中山 和夫 君	6番	山田 きよし 君
7番	細谷 菜穂子 君	8番	森川 雅之 君
9番	平 ゆき子 君	10番	鈴木 敏文 君
11番	ますだ よしお 君	12番	田丸 たけ子 君
13番	加賀田 隆志 君	14番	腰川 日出夫 君
15番	伊藤 すすむ 君	16番	深山 和夫 君
18番	初谷 智津枝 君	19番	三橋 弘明 君
20番	関 好治 君	22番	三枝 義男 君
23番	常泉 健一 君	24番	市原 健二 君
25番	田辺 正和 君	26番	金澤 武夫 君

☆

☆

○欠席議員

なし

☆

☆

○出席説明員

市長	田中豊彦君	副市長	長谷川正君
教育長	古谷一雄君	理事	松本文雄君
理事 (企画財政部長)	國代文美君	総務部長	平野貞夫君
市民部長	中山茂君	福祉部長	古山剛君
経済環境部長	前田一郎君	都市建設部長	古市賢一君
教育部長	金坂正利君	総務部次長 (総務課長事務取扱)	相澤佐君
企画財政部次長 (資産税課長事務取扱)	吉田正君	企画財政部次長 (財政課長事務取扱)	麻生英樹君
市民部次長 (国保年金課長事務取扱)	森川浩一君	福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱)	岡本幸一君
経済環境部次長 (農政課長事務取扱)	鳩川文夫君	都市建設部次長	笠原保夫君
都市建設部次長 (土木管理課長事務取扱)	矢部吉郎君	教育部次長 (教育総務課長事務取扱)	斉藤勝君
職員課長	山本丈彦君	企画政策課長	十枝秀文君

☆

☆

○出席事務局職員

事務局長	大野博志
主幹	三橋勝美
局長補佐 (庶務係長事務取扱)	宮本浩一